

企業の社会的責任(CSR)への取り組み

大阪ガスグループは、企業の社会的責任を全うするための役員および従業員の行動の指針として、「大阪ガスグループCSR憲章」を定めています。社長のもと、役員などがCSRに関する活動計画および活動報告の審議を行う「CSR推進会議」、大阪ガスグループのCSR活動を統括する役員「CSR統括」のもと、組織長が委員となり組織横断的な調整・推進を行う「CSR委員会」を設置し、CSRの取り組み推進と「見える化」のために「CSR指標」を策定・フォローすることなどにより、適切かつ積極的な活動の実践に努めています。



P.45

組織体制に関する詳細は45ページをご覧ください。

大阪ガスグループ「CSR指標」

CSR憲章	CSR指標(2013年3月期-2014年3月期)	2013年3月期実績
I お客さま価値の創造	「お客さま満足度」 総合満足度:85%以上 対象となる7つの顧客接点業務全てで82%以上 (サービスレベルの均質化)	「お客さま満足度」 総合満足度:90.6% 対象となる7つの顧客接点業務全てで82%以上 を達成
II 環境との調和と持続可能な社会への貢献	「環境経営指標」 68円/千m ³ 以下	「環境経営指標」 59円/千m ³
III 社会とのコミュニケーションと社会貢献	「コミュニケーション活動」 実施回数(「食育」、エネルギー環境教育などの出張)1,000回 接点数(科学館などの常設施設)70,000人以上 「社会貢献活動」実施回数600回以上	「コミュニケーション活動」 実施回数(「食育」、エネルギー環境教育などの出張)2,004回 接点数(科学館などの常設施設)70,865人 「社会貢献活動」実施回数632回
IV コンプライアンスの推進と人権の尊重	「コンプライアンス意識調査スコア」 (個人)企業行動基準理解度:対前年向上 (組織)組織の「体質化」度:対前年向上 「コンプライアンス研修受講率」100%	「コンプライアンス意識調査スコア」 企業行動基準の理解度:対前年▲1.8P 組織の体質化度:対前年+1.3P 「コンプライアンス研修受講率」100%
V 人間成長を目指した企業経営	「社員意見調査」 やりがい、愛着度の適正水準維持	「社員意見調査」:適正水準を維持 仕事のやりがい:3.89/5.00 会社への愛着度:4.38/5.00

大阪ガスグループ企業行動基準「私たちの宣言」

- 1 人権を尊重し、安心・快適に働ける職場を実現します。
- 2 法令を遵守し、良識に従い業務を遂行します。
- 3 グローバルな事業活動において、各国・地域の法令、人権に関するものを含む国際規範を尊重します。
- 4 地球環境に配慮して行動します。
- 5 公正な取引・競争を行います。
- 6 安全で高品質な商品・サービスを適正な価格で提供し、お客さま満足の向上に努めます。
- 7 関係先・取引先との交際は、節度を守り良識の範囲で行います。
- 8 情報の価値・重要性を正しく認識し、適正に取り扱い、公開します。
- 9 反社会的勢力との関係を遮断します。
- 10 適正な納税と経理処理を行います。

SRIインデックスへの組み入れ状況

大阪ガスは、2013年3月末時点で、以下のSRI(社会的責任投資)関連インデックスに組み入れられています。



Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index



FTSE4Good Index Series



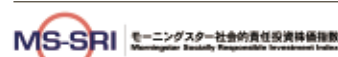
ECPI Ethical Index Global (E.Capital Partners Indices)



Ethibel Pioneer & Excellence Index



MSCI ESG Indices



モーニングスター社会的責任投資株価指数